

完成まであと1年



大館地区多目的ドーム (仮称)

桂城公園から見たドーム

本造では世界最大級のドームの建設工事が、平成九年六月完成、八月のオープンを目指して順調に進んでいます。現在は秋田杉の集成材による屋根の組み立て工事が進められており、次第に卵型をした姿が市街地からも見られるようになってきました。完成まであと一年余り、北国の冬を克服し、雪や雨などの天候に左右されることなくスポーツや遊び、行事を行うことができます。市民をはじめとした周辺市町村が待望するドームの完成が、目前に迫ってきました。この一年、皆さんも利用について考えみてください。

秋田杉集成材による

ドームの骨格が姿を現しました

昨年七月に始まった工事は順調に進んでいます。今までは基礎部分の工事が主体であったため、外からは工事の進行状況を見ることができませんでした。しかし、高さ五十二メートルにもなる屋根の組み立て工事に入った現在は、次第にやわらかな風の流れを思わせるその姿が市街地からも見られるようになりました。

屋根の骨組みには、秋田杉の集成材（全体で、樹齢六十年以上の原木約二万五千本分）が使われているため、普段見慣れている鉄骨とは異なり、その姿に驚かされるときともに、木造のドームだということを実感させられます。

12月には

屋根の膜張りも完了

ドームの屋根工事については、現在進められている骨組み工事と並行して、今月から膜張り工事も行われます。そうすると、次第に白いドームが姿を現し、今年十二月には完全に白い卵型となり、屋根工事が完了します。

スタンドの工事も順調に進んでおり、来年一月末にはほぼ完成。その後各部屋や人工芝張り工事を行い、施設調整、試運転などが終了する六月末には全体が完成する予定です。

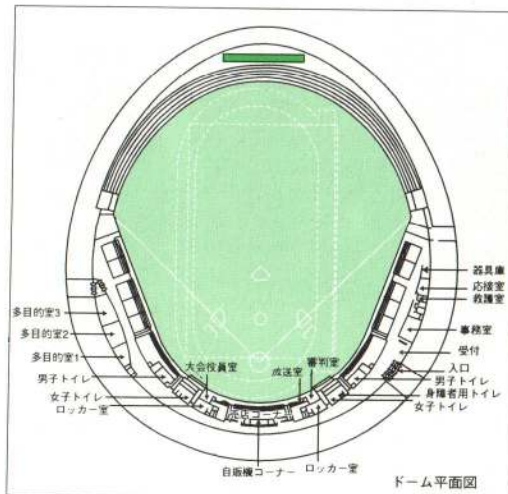
あなたの利用方法を

じっくりと育ててください

ドームの建設工事に入ってから、建設に対して賛否両論、いろいろな意見が聞かれます。建設に否定的な声の多くは建設そのもののより、出来てからの管理運営、つまり採算が取れるのかどうか気がかりのようです。

確かに気がかりです。でも、利用の仕方ですそれを吹き飛ばすことは可能なことです。今までは考えられなかった新しいジャンルの活動が大きく広がり、逆にすばらしい効果が生まれることが期待できます。ドームの完成が一年後に迫った今、人ごとのように論じているときではありません。

雨や雪に影響されことなく、計画したことが予定どおりに行き



ドーム平面図

できる、それも気軽に。これは本当にすばらしいことです。また、子供たちも天候を気にせず思いっきりスポーツや遊びができます。雪国にとってのハンデを克服した夢のような屋内大空間、それがドームです。

県が建設するドームを大館市に誘致したときの皆さんの熱意を、今度は活用に向けてみてください。せっかくのドームを活発な利用で生かしていくことができるのは周辺市町村も含めた地域住民、つまりあなたです。人任せではなく、あなた自身が考える。一回きりでも、年間通してでも、あなたがやりたいと思うことを今から企画し、育てておく、そして天候に左右されることなく実行する。そうすれば幾分かの利用料を負担しても、メリットの方が計り知れないものとなります。

これからも、ドームの出来上がっていく姿を見学していただく機会を設けますので、完成までの一年間、ドームが出来てよかったと思えるような、独創的な使い道を検討してみてください。それがきっと生かされます。